



# こまくさ

令和7年度

1月16日 No56

仙北市立生保内小学校

学校報

教育目標～夢に向かって やさしく!かしこく!たくましく!

## よろしくお願ひします

寒さの厳しい時期となりましたが、子どもたちは元気に活動しています。1月15日からはスキー学習が始まり、雪国に暮らす子どもたちとして、冬ならではの醍醐味を存分に味わってほしいと願っています。

また、降雪量が多いことから、冬期間の登下校について、1月13日にテトルを通じて以下の内容をお願いしております。ご確認のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。

### 【以下、テトル配信文】

#### ①クマ対策のための送迎について

県の出没警戒レベルが警報から注意報に変わり、現在学区内での目撃情報もないことから、徒歩等での登下校も可能とします。ただ、いつ・どこに出没するか分からないことには変わりありませんので、心配なご家庭もあるかと思えます。これまでと同様に送迎を続けるかどうかは、各ご家庭でご判断ください。

#### ②送迎の駐車場について

原則としてプール横での送迎としておりますが、積雪が急増し、駐車場が狭く見通しも悪い状況ですので、当面の間、正門側での送迎も可能とします。ただし、玄関付近は子どもたちが多く集まるため、車の駐車は体育館横をご利用ください。その際は、体育館屋根からの落雪など、周辺の安全状況にも十分ご注意ください。以上、よろしくお願いいたします。

### 『寒さに負けず・雪国の子らしく』

上の文でもお伝えしたとおり、県のカマ出沒警戒報が注意報へと切り替わったこと、そして何よりも雪国に暮らす子どもたちに雪と親しみ、冬ならではの自然を楽



しんでほしいという願いから、グラウンドでの外遊び(雪遊び)を許可することとしました。

雪遊びを行うにあたっては、安全かつ快適に過ごせるよう、以下の点について子どもたちと約束を交わしています。スキーウェアのような上下の防寒着、帽子、手袋を必ず着用すること。雪玉を投げないこと。校舎に入る前には衣服についた雪をしっかりと落とすこと。そして、決められた時間を守って遊ぶことです。

また、念のための熊対策として、職員がグラウンドでの見守りを行っています。子どもたちが外に出る前には、1月から市内各校に配備された「BEAR VIVIR (ベア・ビビール)」を使用し、音を鳴らして周囲の安全を確認しています。

写真は、「BEAR VIVIR」を装備した本校職員の様子です。



## 活躍

### 第75回全国書道コンクール

毛筆 一字賞

硬筆 特選賞



6年 K.K さん